

平成 2 2 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 葬斎場前庭整備事業
-------------------	------------------------

区分	番号	名 称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり
施策	1	人と自然が共生する潤いと安らぎのある環境の創出
小分類	5	葬斎場・墓地の整備
主要な施策	1	葬斎場の効率的な運営
事務事業番号	003	事務事業コード 22151003 事業開始年度 平成 2 2 年度 事業終了年度 平成 2 2 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	葬斎場前庭整備事業
------	------	------------	-----------

部 名	市民生活部	グループ名	市民サービス G
-----	-------	-------	----------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffffcc;">(事務事業の実施目的を具体的に記載してください)</p> 芝の枯死等により荒廃が進んでいる葬斎場前庭部について、種子吹付等による芝地の改良整備を行う。
手段 (事業の内容・活動)	<p style="background-color: #ffffcc;">(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください)</p> 【整備箇所】 玄関前広場部分、正面庭・法面部分、駐車場横法面部分  【整備面積】 2,510㎡  【整備内容】 ・玄関前広場部分 腐植酸種子吹付 A = 1,860㎡ ・正面庭・法面部分、駐車場横法面部分 腐植酸種子吹付(平面部) 410㎡ 張芝 (法面部) 240㎡
成果	<p style="background-color: #ffffcc;">(事務事業の実施成果を具体的に記載してください)</p> 葬斎場の前庭部分及び法面部分の枯れていた芝地が改良され、景観が保たれた。
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	事業の進捗率	%	目標値	100				
			実績値	100				
				目標値				
				実績値				

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	5,870					0
合 計			5,870	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	5	0			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		5	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 市の公共施設であることから、市が事業主体となって実施することは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 葬斎場の前庭部分及び法面部分の枯れていた芝地が改良され、景観が保たれた。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 平成22年度で事業が終了した。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 平成22年度で事業が終了した。

担当グループによる評価

終 了	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	平成22年度で予定していた工事が完了し、葬斎場の前庭部分及び法面部分の枯れていた芝地が改良され、景観が保たれた。
-----	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終 了	備考
-----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）